

大阪大学の授業開講の対応について

在学生の保護者の皆様へ

保護者の皆様には、日頃から本学の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度の春学期・夏学期の授業は原則メディア授業とし、6月以降は一部の実験・実習・実技などから対面授業を段階的に再開してきたところです。

秋学期・冬学期の授業開講にあたっては、教室における収容人数には制限を設けておりますが、全学年において、対面授業の実施は可能であるという方針のもと、各学部・研究科の規模やカリキュラム、各授業における教育効果や感染予防対策を綿密に検証したうえで、実施形態や内容を決定いたしました。その結果、大人数の授業科目については多くの授業がメディアで実施しており、実験・実習や小人数の演習（ゼミナール）、研究室における実践を伴う授業科目については、その多くを対面で実施しています。なお、対面授業に不安を抱える学生に対しましては、面談等を行い、必要な場合には履修上不利益にならないよう配慮を行っています。

やむを得ない状況により対面で授業を受講する機会が少なくなってしまった学生には、各学部において対面での交流会や説明会の機会を積極的に実施するなど、学生間や教員とのコミュニケーションの機会の確保に努めています。

新型コロナウイルス感染症の収束は予断を許さない状況にあります。本学では、感染症の拡大防止対策を徹底して講じつつ、質の高い教育を提供していくため、対面授業だけでなく、春学期・夏学期で実施したメディア授業におけるメリットを積極的に活用し、学生に対しコロナ新時代における新たな教育を推進してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

世界はコロナ新時代と呼ばれる難局を迎えており、社会のあらゆる面で、これまでの常識からの変革が必要となっています。

本学では、コロナ新時代を迎えるにあたり、教育、研究、産学共創・社学共創、国際及び働き方改革に関し、どのようなビジョンのもとで大学を経営し、活動を開いていくのかについて、「コロナ新時代における大阪大学の取組」として、2020年7月末時点での概要をとりまとめておりますので、ぜひご一読ください。

皆様が毎日を健やかに過ごされますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和2年11月20日 大阪大学